

**“教育のゲーミフィケーション”を具現化！オンライン学習教材「すらら」
JICA 中小企業海外展開支援～普及・実証事業～で採択！
インドネシアで産学連携による子どもたちの学力達成度強化事業を始動
～子どもを対象としたeラーニングによる数学力向上の実証試験と企業塾の開設～**

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）より中小企業海外展開支援事業に採択され、インドネシア共和国で産学連携によるeラーニングを活用した子どもたちの学力達成度強化事業を2015年4月より始動する予定です。

今回の事業は、インドネシア共和国における子どもたちの基礎数学力を早急に強化するため、インドネシア教育大学（英語名：Indonesia University of Education 所在地：インドネシア・バンドン 以下、UPI）をカウンターパートとして、パナソニック・ゴーベル インドネシア株式会社（所在地：インドネシア・ジャカルタ 以下、PGI）と連携のもと、持続発展可能な産学連携の体系を構築し、学校・塾・家庭でのeラーニングの活用に関する実証、普及活動を行い、将来的にはビジネス活動に繋げる事業です。

具体的には、UPIとPGIの協力を得て、現地のパイロット校やパイロット塾で実証実験を行う予定です。実証実験は、小河式（※）を搭載しインドネシア語に対応したクラウド型学習システム「すらら」を、UPIの選定したパイロット校やPGIの企業内パイロット塾で運用し現地の小学生の学力向上効果を検証します。

さらに、パイロット校やパイロット塾の運用で得られた学習ログデータを分析・研究し、教育効果の科学的改善に役立てる事もできると考えています。

それらの結果をもとに、将来的にはインドネシアの公教育において「すらら」を補助教材として活用し数学の質的レベルアップを図るとともに、産学連携による企業塾を拡げていく可能性を検討していきたいと考えています。

（※）小河勝氏が40年に及ぶ教育現場の経験をもとに開発した勉強法。短時間集中型反復学習法（短時間、毎日反復することで身に付ける）、「3・3方式（同じ内容の学習を3日間続ける）」といった勉強方法を用いる。

インドネシアにおいて以前実施した調査（BOPビジネス連携促進：教育文化省との連携によるBOP層の子供たちを対象とした教育事業準備調査（JICA））では、多くの子どもたちが小学校低学年から算数でつまづいていることが判明しました。公教育では教員の質や教材の問題などが課題として挙がっていますが、eラーニングにより、それらの問題に左右されることなく、子どもたちの学力達成度を向上させることができると考えます。

また、インドネシアは1.3万の島で構成されていることから、地理的にもeラーニングが有用です。

すららネットでは、「世界中の子ども達の所得格差と教育格差の負の連鎖を断ち切り、基礎学力と生きる力を育む」を理念としており、国内のみではなく、世界に向け、今後も品質の良い教育を安価に提供することで社会の問題を解決していきたいと考えています。

NEWS RELEASE

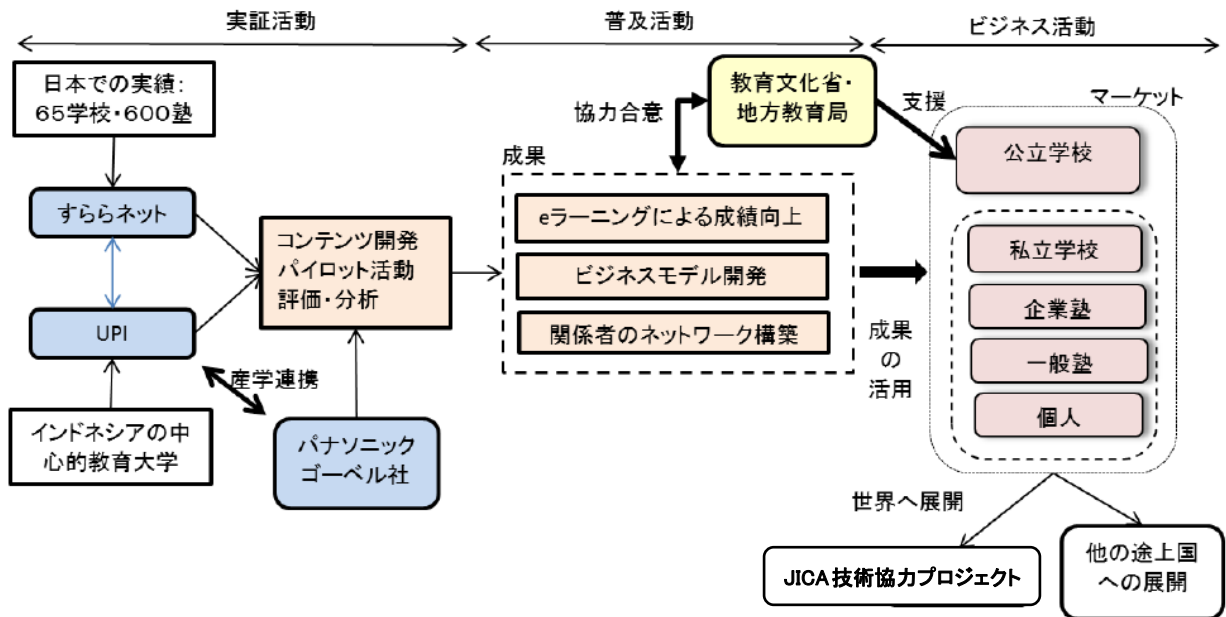


■JICA 採択の「インドネシア共和国で産学連携による e ラーニングを活用した子どもたちの学力達成度強化事業」実施企業

○株式会社すららネット

オンライン学習教材「すらら」などによる教育サービスの提供および運用コンサルティングを実施。
本採択事業では、e ラーニング教材の開発・運営、ビッグデータのモニタリングによる改善・改良や e ラーニング運用者を対象とした研修等を行う。

■事業計画図



■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【利用者数】 約28,000名（2014年5月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのオンライン学習教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーションの要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：13,795万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>